



気嵐

海水温と大気の気温差が大きく、風がおだやかなタイミングで発生する気嵐は、気仙沼の冬の風物詩。

気仙沼大島

三陸復興国立公園の中にある東北最大級の有人島。新鮮な海の幸と素晴らしい自然が魅力。

P.128



三陸エリア

12 | 気仙沼・南三陸

折石

複雑な海岸美が特徴的なリアス海岸にある折石は、三陸復興国立公園を代表する景観の一つ。

P.128



サンオーレ そではま海水浴場

青い海と白い砂浜、緑の芝生のコントラストが美しい海水浴場。

P.129



南三陸キラキラ丼

地元産の海鮮をふんだんに使った、見た目も豪華なキラキラ丼。季節の旬によって四種類のどんぶりが楽しめる。

P.134



道の駅 さんさん南三陸

南三陸さんさん商店街をはじめ、震災伝承施設と観光交流施設が一体となった道の駅。

P.132



気仙沼大島

気仙沼市 **MAP** P.119

自然

「緑の真珠」と呼ばれるジオサイト

気仙沼大島は「緑の真珠」と呼ばれる。2019年4月には本州と気仙沼大島を結ぶ待望の橋が開通。気仙沼の新たなランドマークとなっている。

☎ 170P参照

☎ 0226-28-3000

(気仙沼市観光協会大島支部)



気仙沼湾クルージング

気仙沼湾と大島周辺を中心に遊覧する船会社では、「気仙沼クルージング」を実施。ウミネコの出迎えを受けながら、リアス海岸や気仙沼港、大島を洋上から眺望できる。気仙沼大島大橋も真下から見上げられる。

★要確認 ☎ 0226-23-3315(大島汽船株式会社)



休暇村気仙沼大島

田中浜を見下ろす丘の上に建つ「本館」のほか、キャンプ場もある。遊歩道も整備されており、潮騒を聞きながらの散策におすすめ。近くには鳴砂で有名な十八鳴浜がある。

☎ 1泊2食付き宿泊2名1室1名9720円～

☎ 170P参照 ☎ 0226-28-2626



くぐり浜まき十八鳴浜

歩くと「クックッ」と砂が音を立てることから9+9=18で「十八鳴浜」と名づけられたといわれている国の天然記念物。「三陸ジオパーク」のジオサイトとして認定されている。

☎ 170P参照

☎ 0226-28-3000

(気仙沼市観光協会大島支部)



気仙沼大島ウェルカム・ターミナル

大島の玄関口である浦の浜湾に位置する「気仙沼大島ウェルカム・ターミナル」は、旬の海産物や農産物が並び販売スペースでお土産を購入することができる。また、施設内には、浦の浜湾を眺めながら寛げるテラス席や多目的スペースなどがある。

☎ 気仙沼市浦の浜151-2外 ☎ 9～17時 ☎ 水曜休

☎ 約100台 ☎ 170P参照 ☎ 0226-28-9253



道の駅 大谷海岸

気仙沼市 **MAP** P.119

レジャー・ショッピング

海と生きる。港町の道の駅

海を見渡す国道45号沿いに令和3年3月に新たにオープンした、気仙沼の海産物や野菜、加工品が豊富に並び道の駅。港町ならではの、地場の新鮮な魚介を使用した定食や丼は絶品。

☎ 9～18時 ☎ 無休 ☎ 90台 ☎ 170P参照

☎ 0226-44-3180



気仙沼湾横断橋(かなえおおはし)

気仙沼市 **MAP** P.119

レジャー・ショッピング

気仙沼の新たなランドマーク

シンボルの逆Y字の主塔が気仙沼湾に浮かび上がる姿はまさにフォトジェニック。夜間のライトアップも魅力的。愛称は「かなえおおはし」。

☎ 気仙沼市小々汐1 ☎ 170P参照

☎ 0226-22-4560

(気仙沼市観光協会)



唐桑半島を代表する景勝地

気仙沼市 **MAP** P.119

自然

三陸を代表する奇観

おおがま巨釜

リアス海岸独特の入り組んだ地形が連続し、波の浸食によって奇岩怪岩が多く、荒々しい男性的な景観美が見られるピュースポット。中でも海中から空に向かってそびえたつ大理石の石柱「折石」は、三陸復興国立公園を代表する景観のひとつ。

☎ 169P参照 ☎ 0226-32-3029(気仙沼市観光協会唐桑支部)



宮城オルレ気仙沼・唐桑コースのフィニッシュ地点

はんぞう半造

半造から巨釜にかけては、海岸線に沿って遊歩道が整備され、波の浸食によってできた奇岩を眺めたり、太平洋を一望したりなど、リアス海岸特有の景観を楽しみながら散策できる。また、園地内の半造レストハウスには2022年8月にカフェがオープン。地元食材を使った軽食やドリンクを楽しみながら休憩ができる。

☎ 169P参照 ☎ 0226-32-3029(気仙沼市観光協会唐桑支部)



岩井崎

気仙沼の階上地区にある岩井崎は、「三陸ジオパーク」のジオサイトに認定されている。長い年月をかけて海水によってギザギザに浸食された石灰質の潮吹岩では、岩の割れ目から潮が吹き上がる光景が見られる。また、津波によって被害を受けた松の一部が奇跡的に残り、天へ昇ろうとする龍のような姿に見えることから名付けられた「龍の松」がある。

☎ 30台 ☎ 170P参照

☎ 0226-27-5410(気仙沼市観光協会階上支部)



かんの倉の津波石

唐桑半島の神の倉地区には、東日本大震災の大津波によって海底から波打ち際に打ち上げられた大小合わせて5つの巨石がある。大きなものは直径5m以上あり、津波の威力を直に目で確認でき手で触れることができる貴重な震災遺構だ。

☎ 169P参照

☎ 0226-32-3029

(気仙沼市観光協会唐桑支部)



気仙沼お魚いちば

気仙沼市

食べる

うまい!三陸の幸が並ぶ海鮮市場

気仙沼港で水揚げされる三陸沖で獲れた「サンマ」、「カツオ」、「メカジキ」など、四季折々の海産物が一年を通じて店内に並び、また三陸の新鮮な魚を使った魚介類の商品も多数取り揃えており、気仙沼名物フカヒレを使った「ふかひれ濃縮スープ」や、農林水産祭天皇賞を受賞した「あぶりさんま」はお土産品として人気がありオススメ。施設内にある食事処では三陸でしか味わえない海鮮丼や定食などがその場で堪能できるのも嬉しい。



DATA

★通年 ☎ 8～17時30分(11～3月は～17時)。レストランは10～20時(LO19時30分)。温泉利用は12～16時、19～22時(受付は1時間前まで) ☎ 無休 ☎ 800円 ☎ 100台 ☎ JR気仙沼駅から徒歩約20分 ☎ 0226-29-6233



小田の浜海水浴場

気仙沼市 **MAP P.119**

レジャー・ショッピング

透明度の高い海で海水浴

気仙沼大島の東側に広がる遠浅の美しい海水浴場。透明度の高い澄んだ海で快適な海水浴が楽しめる人気スポット。環境省選定の「快水浴場百選」において特選(全国第2位)に選ばれている。

☎ 170P参照

☎ 0226-28-3000

(気仙沼市観光協会大島支部)



大谷海水浴場

気仙沼市 **MAP P.119**

レジャー・ショッピング

2021年に復活した海水浴場

ハマナスが咲き誇り、遠浅で静かな波が打ち寄せる砂浜で、JRの駅が日本一近い海水浴場としても有名で家族連れで賑わっていた大谷海水浴場。東日本大震災で砂浜の多くが失われてしまいましたが、道の駅「大谷海岸」の復活と合わせ、2021年夏にオープンした。

☎ 170P参照

☎ 0226-44-3180(本吉町観光協会)



お伊勢浜海水浴場

気仙沼市 **MAP P.119**

レジャー・ショッピング

2022年夏に復活した海水浴場

砂浜に穏やかに打ち寄せる波、水面を染める朝日や夕日が美しいビュースポットとして知られていたお伊勢浜海水浴場。東日本大震災で大きな被害を受け、砂浜の多くが流出してしまいましたが、このほど砂浜が再生され、2022年夏にオープンした。

☎ 170P参照

☎ 0226-27-5410(気仙沼市観光協会階上支部)



サンオーレそではま海水浴場

南三陸町 **MAP P.119**

レジャー・ショッピング

ファミリーに人気の海水浴場

「サンオーレ」の名称は砂浜の全長300m(サン・オー・レ)に由来。人工の砂浜が美しく、波も穏やかなので子ども連れにもおすすめ。海の家や無料のシャワーも備えられている。

料 無料 P 420台 ☎ 170P参照

☎ 0226-46-1385(南三陸町商工観光課)



気仙沼「海の市」

気仙沼市 **MAP P.119**

レジャー・ショッピング



ショッピング、グルメ、学び

気仙沼港に面し、魚市場と見学デッキでつながった絶好のポジションにある。1階は海産物のショッピングフロア、飲食店舗、氷の水族館。2階は気仙沼シャークミュージアムと気仙沼市観光サービスセンターのフロアとなっている。

☎ 物販店は8~17時(5~9月は~17時30分) ☎ 不定休 P 113台 ☎ 169P参照

☎ 0226-24-5755(気仙沼産業センター)

気仙沼シャークミュージアム

2階のシャークミュージアムは、日本で唯一「サメ」をテーマにした博物館。サメ研究の権威である北海道大学名誉教授仲谷一宏先生監修のもと、サメの不思議な生態を楽しみ学ぶことができます。

★2024年春リニューアルオープン予定営業時間・入館料金等変更となる場合があります。詳しい内容は、ホームページにてご確認ください。<https://www.uminouchi.com>



氷の水族館

マイナス20度の館内に、気仙沼港で水揚げされるカツオやサンマなど約600匹の魚を展示している。プロジェクションマッピングの演出が幻想的。

☎ 10~17時(5~9月は~17時30分)

☎ 600円

☎ 169P参照 ☎ 0226-24-5755



小泉海水浴場

気仙沼市 **MAP P.119**

レジャー・ショッピング

マリンスポーツを楽しむならここ!

県内で最も高い14.7mの防潮堤を背にして、約150mのエリアで遊泳ができる。遠浅な海はファミリーで楽しむのももちろん、サーフィンなどのマリンスポーツにも最適。

☎ 170P参照

☎ 0226-44-3180(本吉町観光協会)



南三陸温泉

JAPAN TOURISM AWARDS 大賞受賞
震災を風化させない為の語り部バス



宿泊者限定

**【仙台⇄南三陸⇄気仙沼】
往復シャトルバス
気仙沼便運行開始!**

※往復とも要予約

■当日仙台駅出発
仙台駅13:30発→
→南三陸経由15:10頃→
→気仙沼到着16:00頃

■翌日気仙沼出発
気仙沼プラザホテル9:10発→
→気仙沼ホテル観洋9:15発→
→南三陸ホテル観洋10:15発→仙台駅12:00頃

社内換気システム搭載のバスを運行しています

サンマリン
気仙沼 ホテル観洋
TEL.0226-24-1200 〒988-0021 宮城県気仙沼市港崎4-19

姉妹館
気仙沼プラザホテル
TEL.0226-23-1313 〒988-0014 宮城県気仙沼市柏崎1-1

南三陸 ホテル観洋 TEL.0226-46-2442(代)
〒986-0766 宮城県本吉郡南三陸町志津川黒崎99-17
<https://www.mkanyo.jp> ホテル観洋 検索

気仙沼湾

気仙沼市 **MAP P.119**

歴史・文化

良港をもつリアス海岸の湾

唐桑半島と岩井崎に囲まれた湾で、中央には大島がある。湾奥の気仙沼港は、カツオやサンマ、サメの水揚げ量が日本有数。カキやワカメ、ホヤの養殖も行われている。

☎ 169P参照

☎ 0226-22-4560 (気仙沼市観光協会)



野杜海

気仙沼市 **MAP P.119**

レジャー・ショッピング

フェリー発着場向いの商業施設

気仙沼大島の浦の浜地区に新たに整備されたのが観光商業施設。カフェダイニング、鮮魚店、ラーメン店、郷土料理の店など、6店舗が並ぶ。かつての港を見下ろすように造られた防潮堤の上にあり、ロケーションも抜群。

☎ 170P参照

☎ 090-6626-0853 (合同会社野杜海)



安波山

気仙沼市 **MAP P.119**

自然

気仙沼湾を一望

標高239m。気仙沼市役所の背後にあり、港まち気仙沼の市民憩いの山。5台目の駐車場から徒歩で約10分で展望台付近まで登ることができ、気仙沼湾から大島までを一望できる。

🅑 20台 ☎ 169P参照

☎ 0226-22-4560 (気仙沼市観光協会)



気仙沼お魚いちば

気仙沼市 **MAP P.119**

レジャー・ショッピング

三陸復興の最前線に立つ

気仙沼特産フカヒレをはじめとする加工品、気仙沼魚市場に水揚げされる魚介など、多彩な水産物が並ぶ。併設されたレストランで食事をすることができる。

★通年 ☎ 8～18時(11～4月は17時30分)。レストランは10～21時(L.O.20時30分)。(受付は1時間前まで) ☎ 無休 🅑 100台

☎ 169P参照 ☎ 0226-29-6233



気仙沼温泉
気仙沼プラザホテル

988-0014 宮城県気仙沼市柏崎1-1
TEL 0226-23-1313
http://www.kanyo.co.jp
https://www.facebook.com/kesenuma.plaza

田束山

南三陸町・気仙沼市 **MAP P.119**

自然



太平洋を一望するツツジの名所

山岳信仰の霊山として知られ、奥州藤原氏ともゆかりがあるとされる。標高512mの山頂付近まで車で行くことができ、三陸海岸を一望できる。5月中旬～下旬にはツツジが咲き誇る花の名所でもある。

★散策自由 🅑 100台 ☎ 170P参照

☎ 0226-47-2550 (南三陸町観光協会)、0226-22-4560 (気仙沼市観光協会)

徳仙丈山

気仙沼市 **MAP P.119**

自然

日本最大級のツツジの群生地

徳仙丈山は、全国屈指のツツジの名所。満開を迎える5月中旬～下旬には山全体がツツジ色に染まる。

★散策自由 ☎ 170P参照

☎ 0226-22-4560

(気仙沼市観光協会)



モーランド・本吉

気仙沼市 **MAP P.119**

レジャー・ショッピング

動物とふれあい、乳製品づくりを体験

広大で緑豊かな放牧場で、ウサギやポニーなどの動物と触れ合うことができ、体験施設ではアイスクリームやバター、ソーセージなどの手作り体験が楽しめる。パークビューでお覧いただいた後は123mの長いローラー滑り台で遊んだりすることができる。体験は要予約。

★3月中旬～11月末日(休みは要問合せ、体験は12月～3月中旬でも予約があれば可) ☎ 9～16時 ☎ 170P参照

☎ 0226-43-2468 (農事組合法人モーランド)



気仙沼温泉
気仙沼ホテル観洋

988-0021 宮城県気仙沼市港町4-19
TEL 0226-24-1200
http://www.kanyo.co.jp
https://www.facebook.com/sanmarinkanyo

岩井崎塩づくり体験館

気仙沼市 [MAP P.119](#)

歴史・文化

出来上がった塩をおみやげに

岩井崎は、かつて、仙台藩御塩場として塩づくりが行われていた、歴史ある場所である。昔の塩づくりについて学びながら、海水を使ったミネラル豊富な自然塩を作る体験ができる。

🕒 9～16時 📅 不定休

📄 体験料500円 📄 170P参照

☎ 0226-27-5410 (気仙沼市観光協会階上支部)



リアス・アーク美術館

気仙沼市 [MAP P.119](#)

歴史・文化

地域文化をまるかじり!

「地域の文化を未来に伝える方舟(はこぶね)」として建てられた美術館。常設展示は、東北・北海道の作家や気仙沼・本吉地域と関わりが深い美術家の作品を展示する「美術常設展示」と、地域の民俗資料を「食」をキーワードで紹介する「方舟日記」と、「東日本大震災の記録と津波の災害史」がある。

🕒 9時30分～17時(入館は～16時30分) 📅 月・火曜、祝日の翌日休(土・日曜を除く)、及びメンテナンス休 📄 700円 📄 普通車37台、大型車5台 📄 169P参照 ☎ 0226-24-1611



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

気仙沼市 [MAP P.119](#)

歴史・文化

震災の記憶と教訓を伝える“目に見える証”

東日本大震災の津波により大きな被害を受けた気仙沼市。その記憶と教訓を後世に残していくこと、気仙沼市立高等学校旧校舎を被災当時のまま震災遺構として残している。併設する伝承館では、震災当時の様子などを映像、展示とともに振り返る。オブジェメニューとして、語り部がイブニングセミナーも行う。(要予約)

🕒 9時30分～17時(10～3月は～16時) 📅 月曜(祝日の場合は翌日休)、12月30日～1月4日 📄 一般600円、高校生400円、小・中学生300円 📄 普通車111台、身障者用2台、バス17台 📄 170P参照 ☎ 0226-28-9671



大谷鉱山歴史資料館

気仙沼市 [MAP P.119](#)

歴史・文化

黄金文化を支えた金山の歴史を伝える

本吉地区の大谷鉱山の歴史を伝える大谷鉱山歴史資料館。当時の作業で使用されていた削岩機やトロッコ、写真など計450点画展示されています。「三陸ジオパーク」のジオサイトの一つ。

🕒 10～16時 📅 水曜休 📄 入館無料

📄 20台 📄 170P参照

☎ 0226-44-3180 (道の駅大谷海岸)



鹿折金山資料館

気仙沼市 [MAP P.119](#)

歴史・文化

「気仙産金ジオサイト」の一面

鹿折金山は、明治時代末期、重さ2.25kg、純度83%、金鉱石品位で世界記録となる“モンスターゴールド”が採掘された。その写真や、金鉱石・工具・文献などが展示されている。隣に建てられた金山神社にはモンゴルから寄贈された世界最大級の岩塩(重さ1580kg)が展示されている。

🕒 10～16時 📅 火曜休 📄 無料 (特別企画は有料)

📄 10台 📄 170P参照 ☎ 0226-29-5008



南町紫神社前商店街

気仙沼市 [MAP P.119](#)

レジャー・ショッピング

災害公営住宅に併設する商店街

本震災の被害が大きかった気仙沼市内湾地区に開業。災害公営住宅の隣に飲食店や鮮魚店、酒店などが20店以上が集まった施設。

📄 店舗により異なる 📄 店舗により異なる

📄 18台 📄 169P参照 ☎ 0226-25-9756



気仙沼市復興祈念公園

気仙沼市 [MAP P.119](#)

歴史・文化

東日本大震災の追悼・伝承・再生の場所

東日本大震災の追悼・伝承・再生の場として整備されたこの公園では、復興した街並みを一望でき、また復興祈念のシンボル「祈りの帆-セイル-」、伝承彫刻などが設置されている。

📄 気仙沼市陣山264 📄 20台 📄 170P参照

☎ 0226-22-6600 (気仙沼市総務部総務課)



商業施設「ないわん」

気仙沼市 [MAP P.119](#)

レジャー・ショッピング



気仙沼内湾地区の新たな「顔」

商業施設「迎(ムカエル)」、「結(ユワエル)」、「拓(ヒラケル)」、まちづくりの拠点施設「創(ウマレル)」の4施設から成り、まち歩きや買い物を楽しめるスポット。

📄 気仙沼市南町海岸1-14 📄 各店舗、各施設による 📄 各店舗による

📄 内湾地区駐車場をご利用ください。 📄 170P参照 ☎ 0226-22-4560

海辺の温泉

気仙沼市・南三陸町 [MAP P.119](#)

温泉

潮風と共に楽しめる3つの温泉

気仙沼プラザホテル

高台に立つ気仙沼プラザホテルでは天然温泉の露天風呂に浸りながら、気仙沼港に上る朝日や、夕日に染まる大島を眺められる。

📄 100台 📄 0226-23-1313



サンマリン気仙沼ホテル観洋

気仙沼の海岸通りには内湾を望める宿泊施設がいくつかある。天然温泉が楽しめるサンマリン気仙沼ホテル観洋では、日帰り入浴が可能。宿泊に関しては要問合せ。

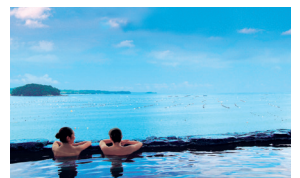
📄 100台 📄 0226-24-1200



南三陸ホテル観洋

ラムサール条約に登録された志津川湾を一望できるホテルで温泉と景観が同時に楽しめる。海に突き出たような露天風呂はまるで海に浮かんでいるよう。水平線から昇る朝日はまさに絶景。

📄 200台 📄 0226-46-2442



志津川湾クルージング

南三陸町

自然

潮風を感じ、ウミネコと戯れる

リアス式海岸の荒々しい岬や島々【荒島・野島・竹島・椿島(国天然記念物)】の景色を眺めながらウミネコと遊び、のんびりとしたクルージングで南三陸の海を楽しむことができる。

📄 1,200円 📄 170P参照

☎ 0226-46-2442 (南三陸ホテル観洋)



道の駅さんさん南三陸

南三陸町 [MAP P.119](#)

レジャー・ショッピング



南三陸さんさん商店街

飲食店や鮮魚店、菓子店など27店が集い、ご当地丼「南三陸キラキラ丼」などのグルメや、多彩なみやげ選りを楽しめる人気スポット。南三陸杉を使った平屋造りは、建築家の隈研吾によるデザイン。また写真撮影スポットとしてモアイ像や商店街をモチーフとした看板もある。(写真提供:南三陸町観光協会)
[店舗により異なる](#) [店舗により異なる](#) [P](#) 約300台 [170P参照](#) [0226-25-8903](#)(事務局)



南三陸311メモリアル

住民の証言映像や現代美術家クリスチャン・ボルタンスキーによるインスタレーション空間を通して、防災や減災について「自分だったら何が出来るか」に向き合う体験ができる。建物は建築家隈研吾の設計。
[9~17時](#) [火曜休](#)、12月29日~1月3日休 [15](#) 60Minプログラム:一般1,000円/30Minプログラム:一般600円 [P](#) 無料/普通車53台、大型車7台、障がい者専用3台、EV充電器1台(北側駐車場) [170P参照](#) [0226-47-2550](#)(南三陸町観光協会)

モアイ像

南三陸町 [MAP P.119](#)

歴史・文化

チリのイースター島から贈られた

1960年のチリ地震の際、遠い海の向こうから押し寄せた津波により志津川地区だけで41名の犠牲者が出た。この津波の記憶を後世に伝えようと、チリ人彫刻家に依頼して創ったモアイ像が、当時の松原公園に設置された。しかし東日本大震災でこのモアイ像が被災。チリから本物のモアイ像が贈られ、令和5年7月にオープンしたうみべの広場に設置されている。
[170P参照](#) [0226-47-2550](#)(南三陸町観光協会)



南三陸町震災復興祈念公園

南三陸町 [MAP P.119](#)

歴史・文化



震災の記憶と教訓を伝える祈りの丘

東日本大震災によって犠牲になられた方々の名簿を納める「名簿安置の碑」、町の復興を祈念して設けられた「復興祈念のテラス」が設置されている。公園へ続く中橋は、建築家・隈研吾のデザインで南三陸産の杉を使用。防災庁舎は震災当時のまま公園内に保存されている。
[P](#) 約100台 [170P参照](#) [0226-46-1377](#)(南三陸町建設課)

南三陸レンタサイクル

南三陸町

レジャー・ショッピング

3時間で500円(普通自転車)とリーズナブルな価格で自転車を借り、南三陸町内をゆっくり観光することができる。大きな荷物も受付に預けることができるので、サンオーレ袖浜や入谷地区の田園風景など、たくさんの絶景スポットをラクラク楽しむことができる。
[9時30分~16時30分](#) [年末年始](#) [普通自転車500円\(3時間毎\)](#) [P](#) 約300台(南三陸さんさん商店街)
[170P参照](#) [0226-47-2550](#)(南三陸町観光協会)



ひころの里

南三陸町 [MAP P.119](#)

歴史・文化

仙台藩の養蚕発祥の地

南三陸町入谷地区は仙台藩養蚕発祥の地として栄えた地域。ひころの里のシルク館では、養蚕業の歴史を紹介している。江戸時代の郷土の居宅(町文化財)のある松笠屋敷も見ものだ。
[9~17時\(11~3月は~16時\)](#) [火曜休](#)(祝日の場合は開館)、年末年始(12月29日から翌年1月3日まで) [400円](#) [P](#) 50台
[170P参照](#) [0226-46-4310](#)



南三陸・海のビクターセンター

南三陸町 [MAP P.119](#)

自然

自然体験活動の拠点

三陸復興国立公園の自然や文化に関する展示を見学できる。そのほか、子どもから大人まで楽しめる、海を中心とした自然体験や自然科学・環境教育プログラムがある。
[9~16時30分](#) [火曜休](#)(祝日の場合はその翌日休)、春休み・夏休み期間は無し
[P](#) 25台 [170P参照](#) [0226-25-7622](#)



おきなくらEELS

南三陸町

レジャー・ショッピング

自然を相手にあそぶ、学ぶ!

石巻・登米・南三陸の自然の中でさまざまなプログラムが体験できる。志津川湾ではシーカヤック、SUP、スノーケリングに挑戦。みちのく潮風トレイルのコースをガイドとともに歩けるプログラムもある。志津川湾マリッジプログラム [P](#) 午前の部:10時~、午後の部:13時30分~ [不定休](#) [P](#) プログラムにより異なる
[P](#) 25台 [info@o-eels.org](#)*予約問合せは、おきなくらEELS(イールズ)公式ページの専用フォームから、要事前予約。



神割崎

石巻市・南三陸町 [MAP P.119]

自然

神が割ったとの伝説が残る

南三陸町と石巻市の境。昔、境争いをする人々に怒った神様が、仲裁のため岩を2つに割ったという伝説が残り、割れた奇岩の間から荒波が流れ込む様子が見られる。

100台 170P参照 0226-46-1385 (南三陸町商工観光課)、0225-67-2114 (石巻市北上総合支所)



神割崎キャンプ場

水平線から日の出を眺められる太平洋に面した高台に位置するキャンプ場。初心者、ファミリー、ペット連れなど幅広い方が楽しめ、手ぶらで気軽にキャンプやバーベキューを楽しめるプランもある。ログキャビンがリニューアルオープンし、他プランを含め一年中楽しむことができる。

火曜休 宿泊小学生以上600円 日帰り一般300円、小学生～高校生200円、小学生未満無料 170P参照 0226-46-9221



南三陸ハマレ歌津

南三陸町 [MAP P.119]

レジャー・ショッピング



食堂やカフェ、みやげ店などが一堂に

南三陸町歌津地区の海を一望でき、木の温もりを感じる商業施設。国道45号沿いに整備され、歌津ICからは5分ほどの場所になる。カフェ、食堂、海産物店、そのほか衣料品、電気店など生活関連の店も入る。(写真提供:南三陸町観光協会)

店舗により異なる 店舗により異なる 50台 170P参照 0226-36-3117

宮城県志津川自然の家

南三陸町 [MAP P.119]

レジャー・ショッピング

海を一望する自然体験施設

本格的な海洋研修、洋上研修など海洋型の自然体験活動を行うことができる東北唯一の社会教育施設。眼下の志津川湾では、シーカヤック体験やいかだ作り、海遊びなどができるほか、広いグラウンドや体育館も完備。研修や合宿に最適な施設となっている。

170P参照 0226-46-9044



校舎の宿さんさん館

南三陸町 [MAP P.119]

歴史・文化

グリーン・ツーリズム体験

廃校となった木造校舎を利用した宿。野菜の種蒔き(4月)などの農業体験、間伐体験(11~3月)などの林業体験等々、宿泊しての体験メニューが100種類もある。

★3~7日前までに要予約(体験内容により事前予約の日数異なる) 50台 170P参照 0226-46-5633



志津川湾R&Bクルーズ

南三陸町

レジャー・ショッピング

南三陸の海、食、ワインを堪能

志津川湾クルーズと、地元の魚介と南三陸で醸造したワインのマリアージュが体験できるプラン。クルーズでは、美しい海だけでなく漁場や海での漁師の作業を見学も。南三陸産食材をふんだんに使ったプレートランチとワイン(2杯)付き。8名以上で催行。1名~予約可能。

10時30分~13時(約2時間半) 予約時に確認 5,000円 5台 170P参照

0226-48-5519(南三陸ワインリー株式会社)



さとうみファーム

南三陸町 [MAP P.119]

レジャー・ショッピング

お楽しみ満載の体験型牧場

バーベキュー、シーカヤックツアーなど、多彩なアクティビティを体験できる牧場。敷地内には愛らしいひつじたちが暮らしており、気軽にふれあえる。

シーカヤックツアー 午前コース:10~12時30分、午後コース:13時30分~16時 無休 大人6,500円、子ども3,000円 5台 170P参照 0226-29-6379(前日17時まで要予約※予約先:satoumi.kayak@gmail.com)



宮城

人から街へ、新発見、新体験!

もの知リーズ

COLUMN

気仙沼シャークミュージアムは国内唯一の「サメの博物館」



「気仙沼シャークミュージアム」は、日本で唯一「サメ」をテーマにした博物館として1997年に開館。2011年に発生した東日本大震災の津波被害により、一時休館を余儀なくされ、震災から3年後の2014年に営業を再開。また、営業再開から10年目となる2024年春には、新たな「サメの魅力」を発信するためリニューアルオープンを予定。



志津川ダコ

「西の明石、東の志津川」とも称されるほど、ブランドタコとして定着しているのが志津川のタコ。荒波で身が引き締まり、アワビなど甲殻類を食べているため味も別格だとか。